

2020年度

学生募集要項

高崎健康福祉大学大学院

薬学研究科

薬学専攻博士課程



薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60 TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118
URL <http://www.takasaki-u.ac.jp> E-mail uhw-yaku@takasaki-u.ac.jp

目次

1. 高崎健康福祉大学大学院の概要	1
2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	1
3. 募集人員	1
4. 出願資格	1
5. 入試日程	1
6. 試験会場	2
7. 指導を希望する教員との事前面談	2
8. 出願手続	2
9. 出願書類等	2
10. 選抜方法	3
11. 合格発表	3
12. 入学手続	3
13. 学費等納付金	4
14. 学位記に付記される専攻分野の名称	4
15. 入学辞退	4
16. その他	4
17. 薬学研究科の指導教員と教育研究分野	5

1. 高崎健康福祉大学大学院薬学研究科の概要

高崎健康福祉大学薬学部は、臨床に関わる実践的な能力を培うことを目的とした6年制薬学部と、6年制薬学部を基礎とする4年制薬学専攻博士課程の薬学研究科から構成されています。



2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

薬学研究科薬学専攻では、臨床現場の薬剤師と科学者という2つの着眼点を持ち優れた研究能力を身につけて高い問題解決能力を持つ薬剤師、チーム医療のメンバーとして時にはリーダーとして医療体制を提案でき後継薬剤師は元より他のコメディカル専門職の未来のあるべき姿を考えられる医療人、の両方の特徴を併せ持つ人材の養成に取り組みます。

従って、本専攻では、薬学に関する研究者、薬剤師の指導者あるいは高度専門職を目指す意欲と能力のある学生の入学を期待します。

3. 募集人員

研究科	専攻・課程	入学定員
薬学研究科	薬学専攻博士課程	3名

※ 社会人入学者に対応するため、大学院設置基準第14条による教育方法の特例を適用し夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行います。希望者は申し出てください。

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- ① 6年制薬学課程の大学を卒業した者及び2020年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 薬剤師免許を有する者で、かつ修士の学位を授与された者
- ③ 薬剤師として3年以上の実務経験がある者
- ④ 薬剤師免許を有する者で、かつ本大学院研究科委員会において、個別の入学資格審査により、修士の学位を授与された者と同等以上の学力があると認められた者

5. 入試日程

第一回 募集	願書受付期間	2019年 8月19日（月）～ 8月28日（水）（必着）
	試験日	2019年 9月 3日（火）
	合格発表	2019年 9月11日（水）
	入学手続期間	2019年 9月11日（水）～ 9月20日（金）（必着）
第二回 募集 (注)	願書受付期間	郵送 2020年 2月10日（月）～ 2月21日（金）必着 持参 2020年 2月10日（月）～ 2月25日（火）午前中 ※持参される場合は事前に電話をお願いします
	試験日	2020年 2月27日（木）
	合格発表	2020年 3月10日（火）
	入学手続期間	2020年 3月10日（火）～ 3月19日（木）（必着）

(注) 第二回募集は、第一回募集で定員に満たない場合にのみ実施します。第二回募集の有無については、2019年10月中旬以降、高崎健康福祉大学薬学部事務室にお問い合わせください。

6. 試験会場

高崎健康福祉大学薬学部

7. 指導を希望する教員との事前面談

本大学院の具体的な研究内容等を知っていただくため、出願前に指導を希望する教員と面談を行い受入の内諾を得て下さい。

8. 出願手続

出願書類を一括取り揃え、入学検定料を納入の上、本学所定の封筒を使用して、高崎健康福祉大学薬学部事務室まで提出して下さい。

9. 出願書類等

必要書類等	作成方法
入学志願票 受験票 写真票 受験票返送用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ● 本学所定の用紙を使用し、必要事項をもれなく記入してください。 ● 入学志願票および写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影の正面、上半身、無帽の写真（縦4 cm×横3 cm、裏面には氏名、志望専攻を記入）を貼付してください。 ● 受験票返送用封筒には、本人の住所（受験票送付先）、氏名、郵便番号を記入し、362円切手を貼付してください。 ● 記入にあたっては、黒のボールペンまたは黒インクの万年筆を使用し、楷書で明確に記入してください。
卒業証明書 卒業見込証明書	出身大学長または学部長が作成し、厳封したもの。
成績証明書	出身大学長または学部長が作成し、厳封したもの。
卒業研究の要旨 又は志望理由書	卒業研究を行っていない場合は、志望理由を記入してください。 様式自由でA4判1枚、ワープロ使用可、氏名・志望専攻を必ず記入してください。いずれの場合も1,200字程度とします。
実務経験証明書	薬剤師として3年以上の実務経験がある者が出願する場合には、本学所定の用紙を使用し、必要事項をもれなく記入してください。
入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学検定料30,000円は必ず電信扱いで銀行振込し、振込依頼書、振込金領収書のそれぞれに取扱銀行収納印が押印されているのを確認してください。また、振込金領収書（大学送付用）を所定の用紙に添付して提出してください。 ● 入学検定料は、銀行振込以外は受け付けません。 ● 一旦振り込まれた入学検定料は返還しません。

○個人情報の取り扱いについて

入学出願書類等で本学が知り得た個人に関する情報及び入学試験結果等については秘密を厳守し、本学での入試関連業務、及びこれらに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

10. 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の審査および小論文、面接の結果を総合して行います。

専攻・課程	時間	試験科目	試験科目の内容
薬学専攻 博士課程	8:30～8:50	受付・諸注意	
	9:00～10:00	小論文	出題された課題について総字数1,200字で記述する
	10:30～	面接（口述試験を含む）	

11. 合格発表

発表年月日 第一回募集 2019年9月11日（水）

第二回募集 2020年3月10日（火）

- (1) 発表は合否にかかわらず受験者宛郵送により通知します。掲示による発表は行いません。
- (2) 合格者には「合格通知書」「入学手続に関する書類」を本人宛に郵送します。電話、その他による合否の問い合わせには、一切応じません。

12. 入学手続

- (1) 合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な書類を送付します。
- (2) 入学手続は、入学手続期限内に手続に必要な「学費等納付金」を銀行振込により納付するとともに、「入学手続書類」を提出することによって完了します。

区 分	入 学 手 続 期 間
第一回募集	2019年9月11日（水）～9月20日（金）（必着）
第二回募集	2020年3月10日（火）～3月19日（木）（必着）

13. 学費等納付金

区 分	1年次			2年次以降
	入学手続き金	後期	合計	
入学金	100,000円	—	100,000円	—
授業料	350,000円	350,000円	700,000円	700,000円
実験実習費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
保険料（4年分）	4,730円	—	4,730円	—
合計	554,730円	450,000円	1,004,730円	900,000円

14. 学位記に付記される専攻分野の名称

高崎健康福祉大学大学院薬学研究科下記課程を修了した者は、下記の学位が授与されることとなります。その際、学位記に付記される専門分野の名称は、次のとおりです。

薬学専攻博士課程「博士（薬学）」

15. 入学辞退

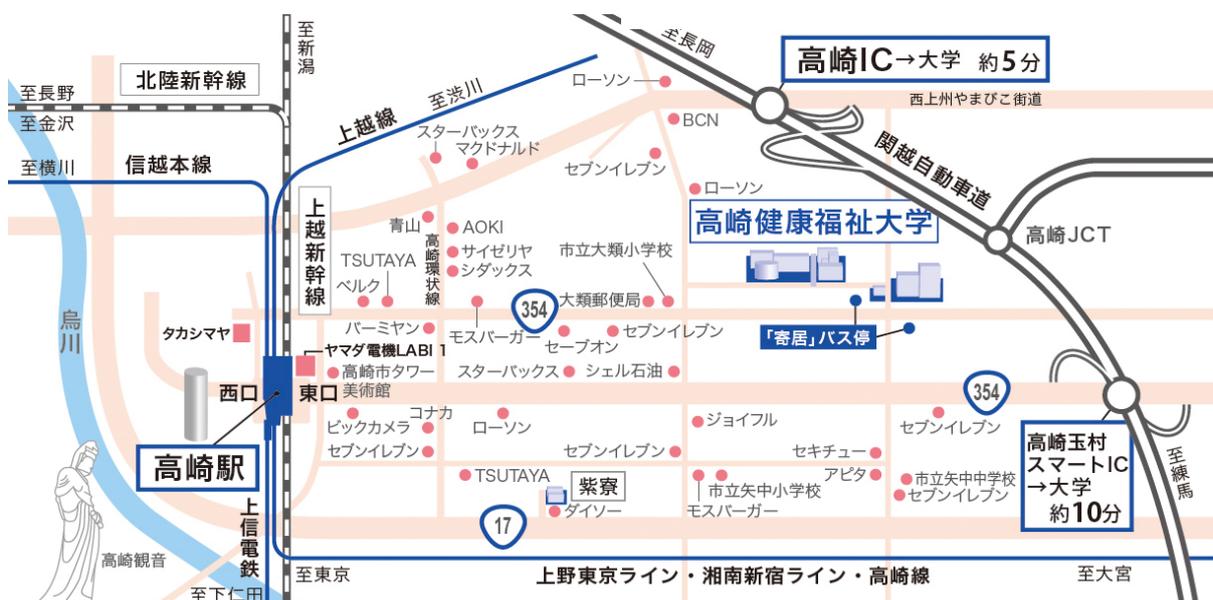
入学手続後、諸事情により入学を辞退する場合は、直ちに下記連絡先に申し出て、本学所定の「入学辞退願」を提出してください。2020年3月31日（火）17時までに提出した場合には、入学金を除く手続き金を返金します。

16. その他

出願について不明な点は、高崎健康福祉大学薬学部事務室に照会してください。

高崎健康福祉大学 薬学部事務室
〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60
TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

(地図)



17. 薬学研究科薬学専攻博士課程の指導教員と教育研究分野

(2019年4月1日現在)

教育研究分野	担当教員	主な研究内容
臨床薬物動態学	林 正弘 教授※ (研究科長)	薬物動態を制御する要因の解析及びその製剤学的研究
生体制御学	大根田絹子 教授※	アレルギー・自己免疫疾患における恒常性維持機構の関連性
臨床薬学	大林恭子 教授	薬効に個人差を与える因子に関する研究
医薬品情報学	岡田裕子 教授	妊娠及び授乳中における医薬品使用の安全性の評価
臨床薬物動態学	荻原琢男 教授	臨床薬物動態学の基盤及び実践的応用の研究
エピゲノム学	常岡 誠 教授※	エピゲノム創薬を目指した転写調節機構の解明
分子製剤学	寺田勝英 教授	製品品質特性を制御する要因の解析と制御に関する研究
生体機能分子輸送学	中西猛夫 教授	薬物や生体分子の体内動態調節機構の解明と DDS への応用展開
分子薬物治療学	中道範隆 教授	精神・神経疾患の病態解明と薬物療法の最適化
衛生化学	平野和也 教授	感染症に対する生体防御のメカニズムの解明
臨床病態学	福間長知 教授※	多様な方法論による循環器ストレス応答機構の解析
薬効解析学	松岡 功 教授	臨床薬理学的作用と細胞内情報伝達系の関連
分子薬化学	峯野知子 教授	有機化学を基盤とした生物活性化合物の研究
分子設計学	山際教之 教授	医薬品開発を支援する機能性有機分子の研究
病態生理学	吉田 真 教授 本間成佳 准教授	循環器系病態生理学的知見に基づく新規薬物療法の研究 生理活性物質の細胞内情報伝達機構の解析
細胞生理化学	今井 純 准教授	癌細胞の抗原提示機序を利用した特異的薬物療法の研究
臨床簡易分析化学	高橋成周 准教授	機能性薄膜を利用したバイオセンサーの作製
分子神経科学	福地 守 准教授	神経系遺伝子発現制御機構の解明および創薬への応用

※印の教員は2020年度入学生の指導教員となることができません。